

「教育システム開発賞を受賞しました」

スペシャルニーズ口腔医学講座 歯学教育学部門 片岡竜太

7月1日、2日に開催された第35回歯科医学教育学会で、大学間連携共同教育推進事業「超高齢社会に対応できる歯科医師の養成」5年間の取組の成果をまとめた「3大学共通の3年間にわたる能動的教育システムの実施とその効果」というタイトルで教育システム開発賞を受賞しました。

本教育システムは3大学で共通のe-ラーニング、VP(仮想患者)教材、ポートフォリオを活用してStep 1(3年生):基礎知識の修得、Step 2(4年生):コミュニケーション、臨床推論能力の養成、Step 3(5年生):臨床における実践とふりかえりの3ステップの必修授業から構成されています。

授業はIT教材で予習をさせ、授業中は学生にIT教材の症例課題に取組ませ、その正答率を確認しながら解説授業をおこない、IT教材で復習をさせるという3大学共通の流れで進めています。主な学習内容は1. 口腔乾燥症、2. 基礎疾患を有する患者の歯科診療、3. チーム医療(急性期、回復期)です。

社会のニーズに対応した本教育システムは、同じIT教材を複数の大学で共有することで、時間や場所の制約を受けずに活用でき、双方向の授業の中でIT教材を活用することで、カリキュラムや学生のニーズに対応でき、一定の成果をあげられる事が明らかになりました。

最後に文科省のIT連携で協働している岩手医科大学、北海道医療大学、本学の教職員、9つの歯科医師会、IT企業、ITを活用した教育センターの皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

